

市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

令和3年 12月 21日

市川市長

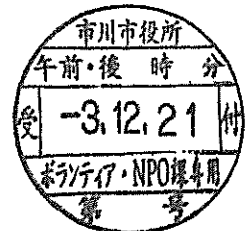
団体名 特定非営利活動法人  
市川子ども文化ステーション  
(団体番号 81 )  
代表者名 [REDACTED]  
所在地 [REDACTED]

令和3年 4月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	1, 225, 634円
(2) 補助対象経費総額	654, 710円
(3) 補助金交付決定額	150, 000円
(4) 補助金交付概算払額	150, 000円



## (5) 実施報告

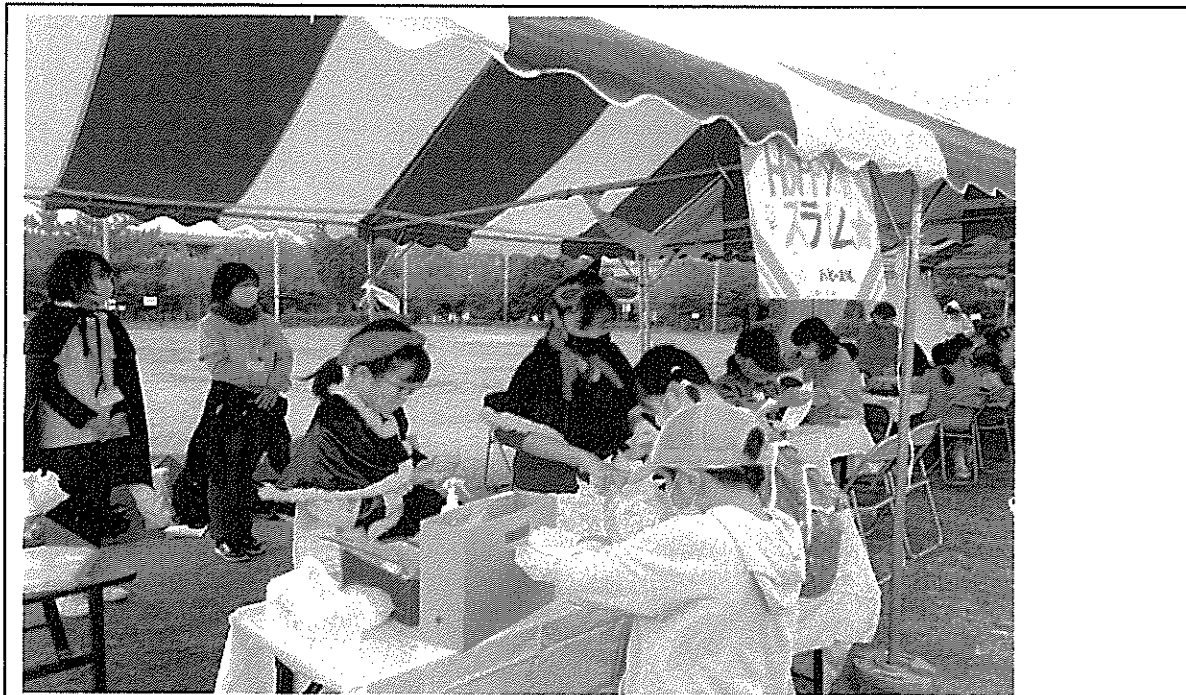
補助決定事業の名称	子どもがつくるまち「ミニ☆いちかわ2021」
補助決定事業の実施内容  (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)	<p>計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもスタッフ会議：8/29、9/12、9/19、9/26、10/3、10/10、10/24、11/14の8回実施。小学4年生～高2まで32人が参加。ふれあいセンター、南八幡3丁目自治会館にて。また中学生以上の子どもスタッフコア会議で事前準備を進めてきた。「子どものまち」についてのマニュアルやルールを考え直し、感染症予防対策についても十分検討してルールを追加した。会議が始まると準備してきた内容を元に会議進行を実施（およそ6人参加）。計画通り食品ブースは中止とした。</li> <li>子どもスタッフの創造力を高めていくためのワークショップを、樋口氏を講師に9/19に実施。</li> <li>7月中旬から子どもスタッフ募集を行い、定員30人に対して29人が応募。</li> <li>子どもスタッフ保護者説明会を8/29に実施。</li> <li>ボランティアスタッフ募集については、募集チラシを7月末から配布、SNSやHPでも広報し、説明会を8/22にZOOMにて実施（都合の合わなかった方へは録画を配信）、また公式アカウントを作成してつながりをもち連絡を密にとっていくことを心掛けた。対面で会う機会が減ったがZOOMや動画配信を活用して丁寧に関わるようにした。結果的にボランティアとしてのべ160人の方々が関わってくださった。ボランティア向け直前説明会も10/24ZOOMで実施、録画配信も行い、子どもとの関わり方や今年の子どものまちの特徴などを説明した。</li> <li>千葉県こどものまちCBT（オンライン開催：9/12）は、日程が合わず参加はできなかった。</li> <li>当日参加者10/30・31両日で820人、ボランティア約160人、5団体が協力団体として参加してくださった。</li> <li>子どもスタッフ・ボランティアスタッフまとめの会を11/14に実施。</li> </ul>
広報の実施状況  (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内全小中学校、4年生～中学2年までを対象に子ども実行委員募集のチラシを7月中旬に配布。</li> <li>ボランティア募集チラシを7月末から市内公民館・ボランティアセンターなどに配布・設置。</li> <li>市内全小中学校にミニ☆いちかわ参加募集のチラシを9月中旬に配布。</li> <li>市内公民館や大学などにボランティアスタッフ募集チラシを8月に配布、説明会をZOOMで行い「ミニ☆いちかわのボランティアスタッフ」としての理解を広めた。</li> <li>団体のHPやフェイスブックに、募集の案内や子どもスタッフ会議の様子を掲載。</li> </ul>
補助決定事業の成果  (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)	<p>補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。</p> <p>今年で19年目の開催。今年も小学4年生以上の子どもスタッフに29人が応募し、8回のスタッフ会議を重ねる中で、学年や学校の違う子どもたちが仲良くなり、意見を交わし、自分のやりたい事を実現することができた。また「ミニ☆いちかわ」当日も参加した延べ約820人の年齢も学校も違う子どもたちが“子どものまちをつくる”という目的のもと、生き生きと活躍することができ自己肯定感を育むことに貢献できた。コロナ禍による昨年の中止(プランク)や生活スタイルの変化で今までとは違う点が多かったが、十分に話し合い解決しながら運営した。ボランティアスタッフについては、子ども主体の活動の内容を理解した上で参加してもらえるように働きかけ関わっていた。地域でボランティアを希望してもその機会自体減少していたとのことで、求めている人とこの事業との出会いで双方により成果をもたらした。大洲防災公園で開催したことにより地域の方にも広く事業のことを知ってもらえる機会になり、子ども中心の事業を地域で見守る応援のまなざしを感じた。</p>
補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策  (今後の方向性)	<p>補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。</p> <p>3か月にわたる子ども会議に携わるボランティアスタッフは、子どもとの信頼関係を築き、子どものやる気に寄り添っていくスキルが必要。対面で行ってきた説明会をZOOMアプリを利用して自宅で説明を聞いてもらえたり、日程が合わない方へ録画配信をするなどの対応が可能となり、気軽に関わってもらえる機会をつくることができた。しかし、伝えたいものが伝わり切っていないこともあり、今後も工夫を重ねて実施していく必要性を感じた。情報発信ツールとしてLINE公式アカウントを利用し、気軽に質問や問い合わせを受ける体制を整えたが、発信内容など検討する余地は残されている。</p> <p>昨年のコロナ禍による中止のため、スタッフの中にもプランクを感じる場面があった。開催場所も約10年ぶりの大洲防災公園での開催ということで、必要な物品や準備する段取りの変化に対応するのに苦労する部分があった。</p> <p>開催場所が屋外に戻ったことにより、天候の影響を受けることは想像できたが、対策が十分ではなく2日目途中の雨天ではカバーしきれないものが出てしまった。換気や会場の広さの事を考えると、大洲防災公園での開催を希望する方向性が考えられるので、雨対策については準備と検討が必要である。</p> <p>できたところとできなかったところの混在を整理し、スタッフの知識やスキルの向上を目指したい。</p>

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

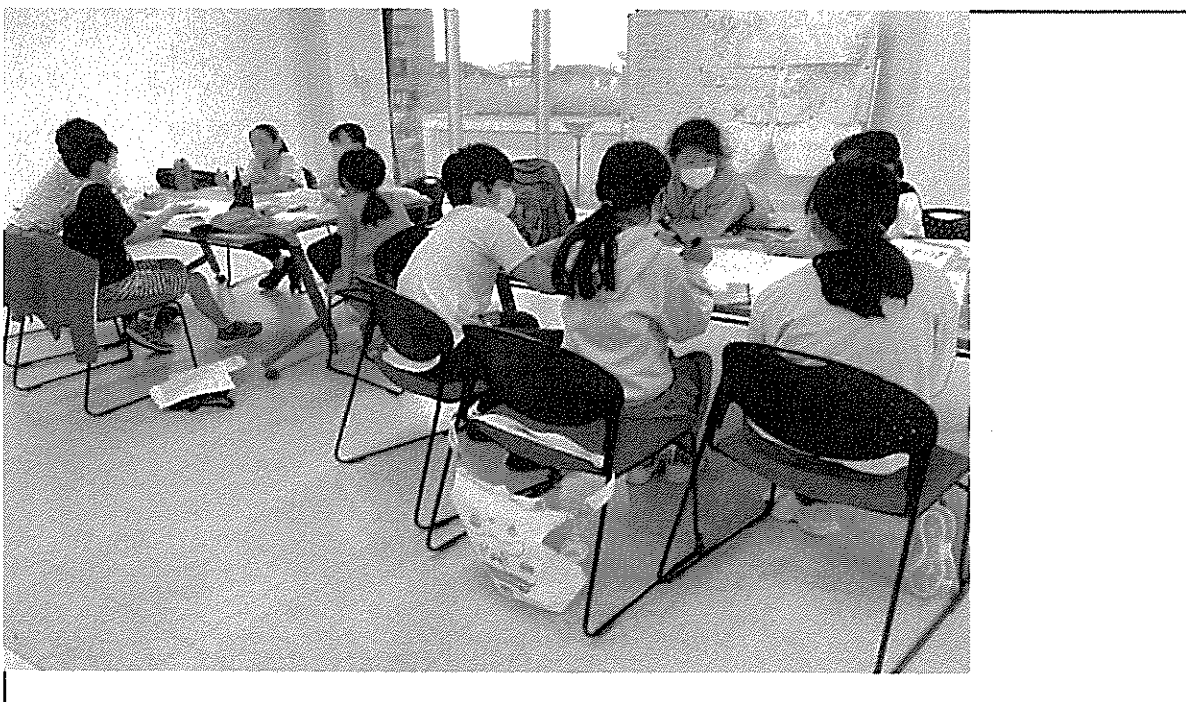
タイトル：「子どもがつくるまち・ミニ☆いちかわ2021」当日の様子

撮影年月日：2021年10月31日



タイトル：「子どもがつくるまち・ミニ☆いちかわ2021」子どもスタッフ会議の様子

撮影年月日：2021年9月26日



## 市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称: 子どもがつくるまち「ミニ☆いちかわ2021」

## 1【収入】

項目	金額	説明(積算等)
事業収入	426,000	当日材料費 500円×820人=410000円 子どもスタッフ資料代 500円×32人=16000円
寄附金収入	621,000	商店や企業からの協賛金
補助金収入	150,000	市川市市民活動団体事業補助金
その他 (助成金等)	0	
会費充当	28,634	団体の本会計より充当
合計	1,225,634	

## 2【支出】

項目	支出金額	うち補助対象金額	説明(積算等)
報償費	20,000	20,000	外部講師等の招へい (あり) / なし
謝金	185,000	0	協力スタッフ謝金のべ34人分
交通費	27,460	0	外部協力者交通費1人分 960円 スタッフ交通費 11人分
消耗品費	75,944	52,000	スタッフ募集チラシ用紙代、 資料等用紙代、インク代、文具代、他
印刷製本費	158,340	80,000	子どもスタッフ募集チラシ14000枚24060円 ボランティア募集チラシ700枚3380円 参加者募集チラシ25000枚38440円 当日プログラム(12P)2500部71330円 報告チラシ(A4)500部3390円 他コピー代
通信運搬費	121,000	40,000	機材運搬費 121,000円
保険料	19,600	16,800	@28×700人
使用料及び賃借料	486,890	400,000	*会場借料14990円は補助対象外 テント、机、椅子、音響機材等 471,900円
原材料費	45,910	45,910	当日材料費(ブース材料費、文具、テープ等)
会議費	24,108	0	子どもスタッフ会議材料(お菓子)等
食糧費	61,162	0	当日ボランティア軽食補助約150人×2日分
その他	220	0	振り込み手数料
	1,225,634	654,710	

※ 領収書(原本)を添付してください。

市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

令和4年3月3日

市川市長

団体名 行徳芝桜の会

(団体番号 85 )

代表者名

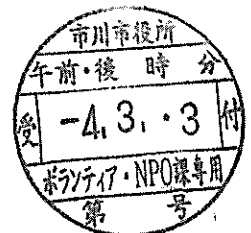
所在地

令和3年4月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	285,748円
(2) 補助対象経費総額	200,000円 <del>285,748円</del>
(3) 補助金交付決定額	100,000円
(4) 補助金交付概算払額	100,000円



(5) 実施報告

補助決定事業の名称	芝桜花壇とバラ花壇の再生、維持管理事業
補助決定事業の実施内容  (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)	計画どおりにできたこと、できなかったこと等を具体的に記載してください。 ・毎年参加の市主催の春と秋のまちなかガーデニングフェスタはコロナの関係で中止 ・新たに約200平方メートルのバラ花壇を造成し、購入したバラ苗20株の他に育成中の苗約100株を移植 ・定期的なバラの殺虫、殺菌作業、水やり、草取りの実施 ・定期的なバラ枝の剪定、施肥実施 ・花壇に868株の花苗を移植 ・毎週火曜日 草取り、水やり、施肥、補植、増殖等を実施 ・造成した花壇を中心に施肥に重点を置いて管理
広報の実施状況  (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)	・毎年参加の市主催の春と秋のまちなかガーデニングフェスタはコロナの関係で中止 ・ネット上でバラ園や花畑の紹介記事、投稿が多くなり、利用者も増加傾向にあります
補助決定事業の成果  (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)	補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。 ・バラ花壇の増設により本格的なバラ園へと展開途上で、周りの緑や水辺とコラボして行徳の景観のスポット、憩いの場として利用されています。 ・今迄は個人負担のボランティア活動が主体で、管理する費用が十分ではなかったが、補助金を受けることにより、必要な肥料、土、苗、苗木などが無理なく調達が可能となり、バラ園も年を追う毎に拡大し利用者も増加し、多くの方から賞賛とお礼の言葉をいただくようになりました。 ・今年度もバラ花壇の拡張に伴うバラ苗や草花の苗など必要な次第が、補助金と寄附金により計画どおりに購入でき、会員の熱心な取り組みもあり、更に市民に喜ばれるお花畑になってきました。
補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策  (今後の方向性)	補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。 ・芝桜の草取りは一年中必要で労力的にも負担になっていたのと1年に一か月間位の開花で、後の11か月は花が少なかったが、現在芝桜から草花に移行中で、管理が楽になってきているのと四季の花が見られるので、今迄以上に利用者に喜ばれています。今後は更に宿根や雑草にも強く、乾燥にも強い花も組み入れ、又季節に合わせた花も入れて利用者に敷きの花を楽しんでもらうように考えます。 ・バラ花壇の拡張は限られていますので、今後はバラの管理の面で、アーチを組み入れたり、レベルアップも考えています。 ・今後も継続的な管理ができるように、組織の強化が課題であり、NPO法人の立ち上げを考えています。又行政との協働、特に下水処理場管理者には、任せきりではなく、協働の道を提案していく予定です。

(6) その他 ※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください

タイトル：ポーチユラカと

撮 影 令 和 3 年 9 月 2 1 日



タイトル：バラ造成と移植

撮 影 令 和 3 年 5 月 8 日



市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

芝桜花壇とバラ花壇の再生、維持管理事業

1【収 入】

項 目	金 額	説 明（積算等）
事業収入		
寄附金収入	185,748	会員などからの寄附
補助金収入	100,000	市川市市民活動団体事業補助金
その他 （助成金等）		
会費充当		団体の本会計より充当
合 計	285,748	

2【支 出】

項 目	支出金額	うち補助対象金額	説 明（積算等）
報償費			外部講師等の招へい あり/なし
交通費			
消耗品費			
印刷製本費			
通信運搬費			
保険料			
使用料及び賃借料			
原材料費	285,748	200,000	バラ苗20株 71,190円、ポーチュラカ苗等868株 101,852円、化成肥料・堆肥163袋 112,706円
合 計	285,748	200,000	

※ 領収書（原本）を添付してください。



市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

令和4年3月31日

市川市長

団体名 戦争は嫌だ!市川市民の会

(団体番号 86 )

代表者名

所在地

令和3年7月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	207,914	円
(2) 補助対象経費総額	162,953	円
(3) 補助金交付決定額	104,000	円
(4) 補助金交付概算払額	104,000	円



(5) 実績報告

補助決定事業の名称 「戦争はいやだ！いのち・人権こそ！

<補助決定事業の実施内容>

○第2回「集い」 7月17日 13時30分～16時30分 市川教育会館ホール 参加40名

テーマ 「敵基地攻撃論」と日米一体化 一踏み越える「専守防衛」一

お話し 半田 滋さん（防衛ジャーナリスト）

「敵基地攻撃能力の保持」という新防衛方針についての全面批判。その「能力保持」は違憲に当たらないとする政府に対し、国是である「専守防衛」と真向矛盾、と指摘。沖縄宮古島への軍事基地強行や、基地・原発周辺土地の「利用規制強化」等々、日米軍事一体化が著しいと、訴えた。

○第3回「集い」10月30日 13時30分～16時30分 市川教育会館ホール 参加32人

テーマ 福島原発事故から10年 一避難生活の実情を聞く一

お話し 三瓶春江さん 佐々木やす子さん

原発爆発事故による全村避難から10年！その避難生活の一端を報告いただき、参加者と交流できた。

感想から…<「ふるさとを返せ」の重みを感じました。このお話を全ての人にお知らせしたい、という思いに同感します。今日参加して本当に良かったと思います>

○第4回「集い」11月8日 13時30分～16時30分 市川教育会館ホール 参加38人

テーマ 徹底批判！！「岸田首相の新しい資本主義」

お話し 的場昭弘さん 神奈川大学副学長

「資本主義」にまつわってマルクスにさかのぼっての、原則的なお話をいただきました。その中の文節一部を紹介、「資本の価値増殖を元元させる資本主義は、生産力を一気に高め、のどかな単純再生産を急速な拡大再生産に代えてしまいます。略国家も、もともと資本の価値増殖を促進するために存在したわけです。後略」

<広報の実施状況> ○約1か月前、当日の「ご案内」チラシを、賛同人に配付、機会を見て一般配布、新聞社や市内ミニコミ紙当の「告知版」に掲載依頼。市広報紙「いちかわ」は字数制限が強すぎ活用しにくいです。

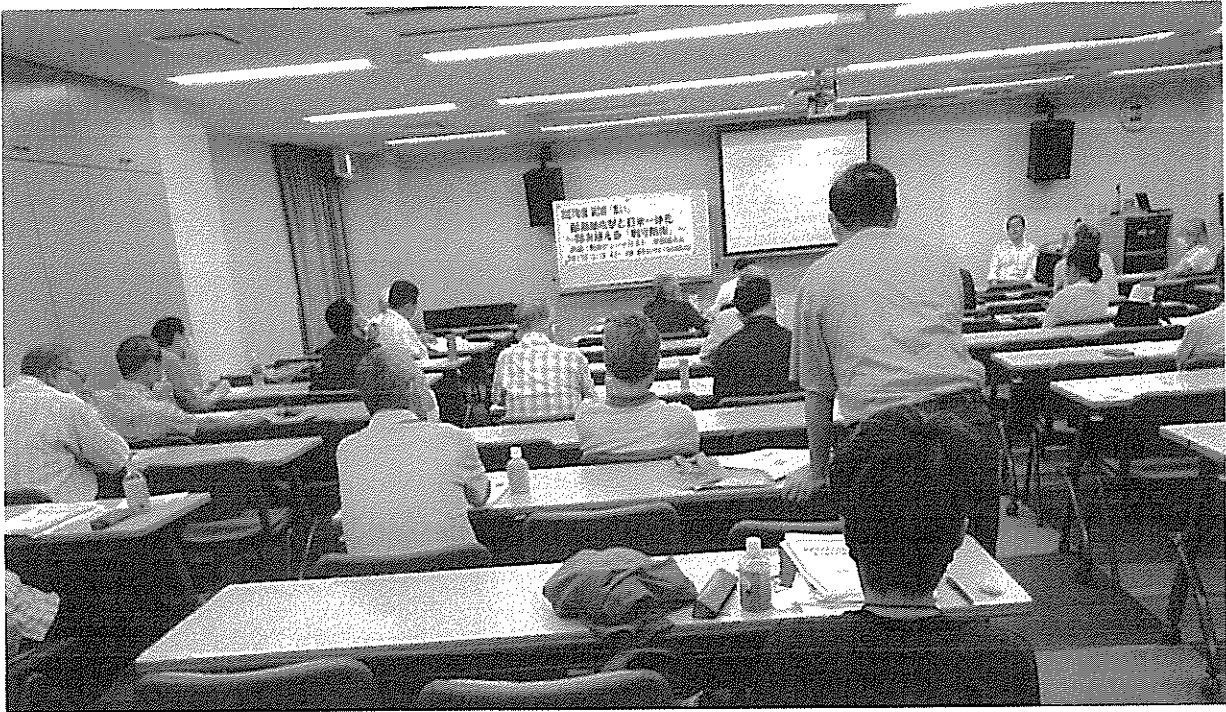
<補助決定事業の成果> ○一般市民による任意「賛同金」主たる財源である当会にとって、市の補助金は活動推進の第二の財源として大変重い役割を果たしている。主に講師謝礼に活用させております。

<補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策>

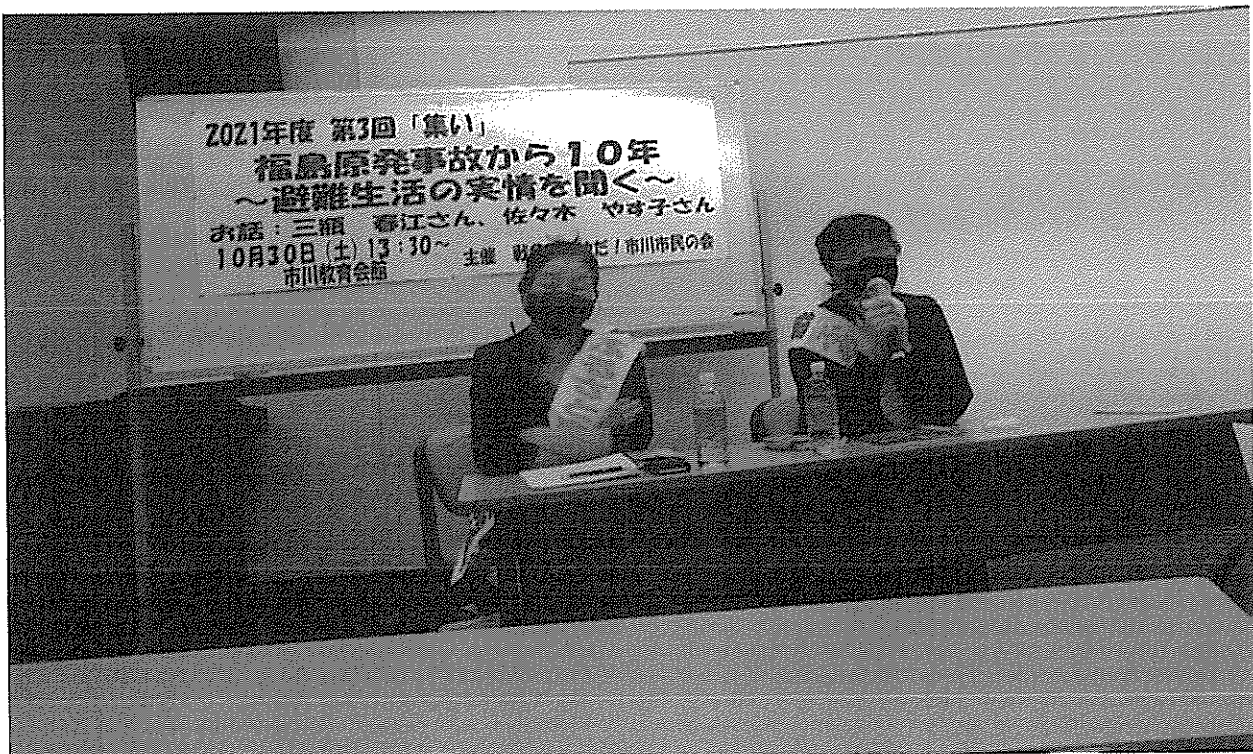
○課題は、企画運営に参加市民の声を反映させるにはどうしたらよいか。

市内公共施設における催し会場の不足。

第2回 「集い」 7月17日 「敵基地攻撃論」と日米一体化 お話し 半田 滋さん



第3回 「集い」 10月30日 福島原発事故から10年 ー避難生活の実情を聞くー  
お話し 三瓶春江さん・佐々木やす子さん



## 市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称：戦争はいやだ！いのち・人権こそ！

## 1【収入】

項目	金額	説明(積算等)
事業収入	135,000	賛同金68,000円+参加費67,000円
寄附金収入	8,640	
補助金収入	104,000	市川市市民活動団体事業補助金
その他 (助成金等)		
会費充当		団体の本会計より充当
補助金返還	-39,726	22,524(概算払-確定額)+17,202(収入(事業・寄附金+確定額)-支出)
合計	207,914	

## 2【支出】

項目	支出金額	うち補助対象金額	説明(積算等)
報償費	93,000	73,000	各「集い」講師謝礼金33,000+30,000+10,000+対象外20,000
交通費			
消耗品費	49,059	37,812	コピー用紙、文具等
印刷製本費	4,100	3,160	案内チラシ、配付資料等
通信運搬費	47,195	37,481	ご案内等送付、切手代
保険料			
使用料及び賃借料	14,560	11,500	うち対象4,000円×2回、3,500円×1回
原材料費			
その他			
合計	207,914	162,953	

※ 領収書(原本)を添付してください。

市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

令和4年3月22日

市川市長

団体名 ぼっけ生きもの倶楽部  
(団体番号 No. 88)  
代表者名  
所在地

令和3年7月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、  
下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	269,111円
(2) 補助対象経費総額	265,605円
(3) 補助金交付決定額	132,802円
(4) 補助金交付概算払額	132,802円



(5) 実施報告

<p>補助決定事業の名称</p>	<p>大柏川第一調節池緑地の自然環境保全・再生活動</p>
<p>補助決定事業の実施内容 (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)</p>	<p>計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 生物調査・撮影・測定 <ul style="list-style-type: none"> <li>* 1年を通しての植物、野鳥、昆虫、魚類等の調査。</li> <li>* 四季の遷り変りを記録に残すために7箇所での定点撮影。</li> <li>* 水系の経緯を観測するために1勇水量と地下水位の測定。</li> </ul> </li> <li>2. 現境保全・再生活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>* 次年度草刈り計画図面の提出 生物多様性を考慮した草刈り要望図面を、CADソフトを用いて作成し提出した。生活環境整備課は、この要望図面を基に年5回の草刈りを実施・検証・記録を執った。</li> <li>* 草刈り作業 生活環境整備課が実施する以外の広場、外周路、ポケットパークなどは、長靴を履き、鎌、刈り払い機、ロータリー草刈りを用いて草刈りを行った。柵池内は、水面を維持するため長靴、胴長靴等を用いて池内の草刈りを行った。クズについては単一種優占を防ぐため除草剤を用いて抑制した。</li> <li>* 樹木の剪定・移植 繁茂している樹木については、鳥類の営巣状況や昆虫類の利用状況等を観察しながら適宜、剪定を行った。 市内の林内において提供いただいた在来樹種の移植を行った。</li> </ul> </li> <li>3. 在来種を保全するための外来生物駆除 <ul style="list-style-type: none"> <li>* アカミミガメやライギョの駆除 カメトラップや日光浴罟を設置し、捕獲し駆除した。捕獲したアカミミガメはビジターセンターへ渡し、市が適正に処理した。</li> <li>* 特定外来植物・外来植物の駆除 2013年台風26号で、大柏川第一調節池緑地は満水となり、その後毎年、特定外来植物アレチウリ、オオバクサが観察され毎年駆除している。現在でも少数が確認されるため観察し、継続的に駆除を行っている。 ヘラオオバコ等外来種の草本についても引き続き駆除を実施した。</li> </ul> </li> <li>4. 希少種保全・再生 アサザ・ガガブタは、入園者が近場で観察できるように、ビジターセンター近くの柵池への移植作業を実施した。なお、タタラカンガレイ、ツツイトモ、アサザ、ガガブタ等の希少種の保全作業を継続した。 休耕田の埋土種子が発芽したが、柵池への移植による繁茂が見られないため引き続き試験を継続し移植を行う。 ガマ、アシの刈取りにより貴重在来草本である（ジョロウスゲ）の生育を確認できた。</li> <li>5. 市民への啓蒙活動 当緑地、来園者への動植物や生態等の説明やパネルの作成、樹名板の設置、夏季は池で採取された水生生物を観察できるように水槽、たらいに入れ展示した。秋は子供達への落ち葉プール等のアクティビティー設置。 ぼっけ生きもの倶楽部の活動事業報告書、写真集を展示し入園者への啓蒙を図った。</li> </ol>
<p>広報の実施状況 (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 広報いちかわに掲載した。 毎年、高校生の夏季ボランティア参加の受け入れを実施。</li> <li>2. 工地コギャラリーでボランティアを募集の冊子を配布した。</li> <li>3. 緑内の看板にボランティア募集のポスターを貼付した。</li> </ol>

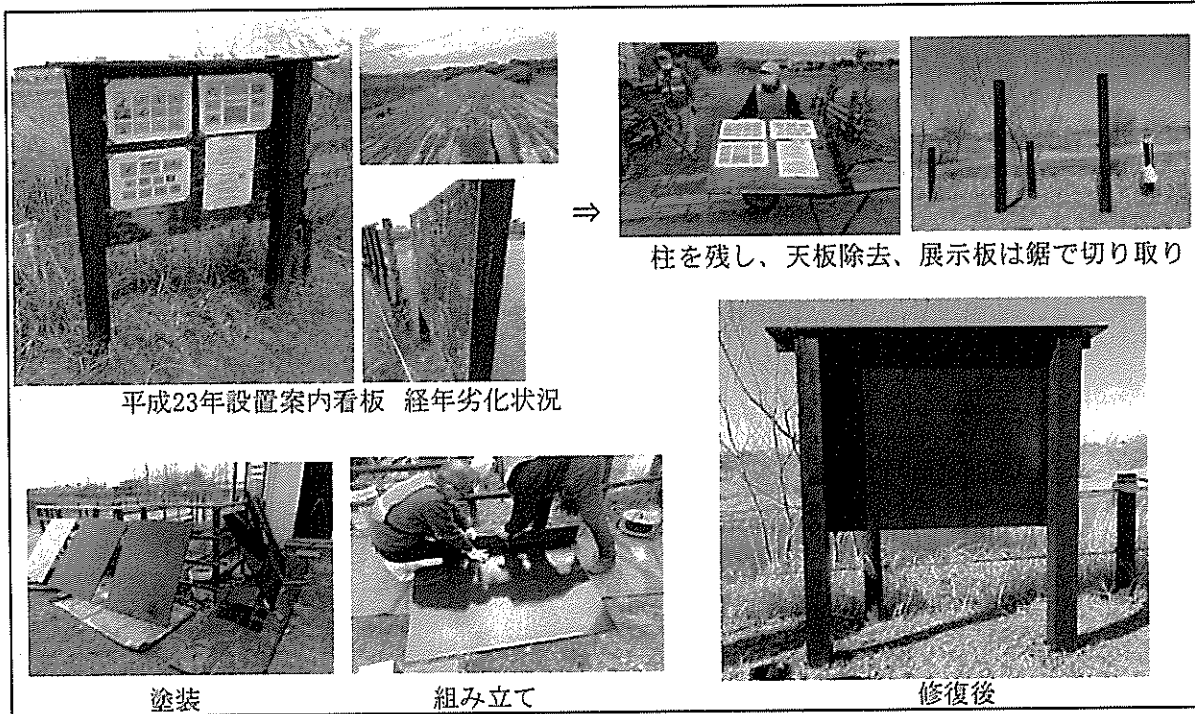
<p>補助決定事業の成果</p> <p>(課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)</p>	<p>補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 生物調査・撮影・測定 植物、野鳥、昆虫、魚類等の調査、定点撮影による四季の変遷記録、湧水量と地下水位の測定ができた。</li> <li>2. 環境保全・再生活動 2021年度草刈り要望図面を提出した。 2020年度の草刈り、クス抑制、樹木剪定は、無事順調に達成できた。</li> <li>3. 在来種を保全するための外来生物駆除 引き続きカメトラップ・日光浴罟の設置により、アカミミガメは減少し現在2~3個体のみ確認されるまでになった、ライギョの卵塊、幼魚、成魚を捕獲した結果、著しい繁殖を避けられ、生息数は減少しているものと思われる。外来植物は、出現頻度を抑えるため種により駆除方法を検討し、スコップ等による引き抜き、鎌での刈り取りなどの作業を実施した。</li> <li>4. 希少種保全・再生 アサザ・ガガブタの育て方が確立したので、入園者が観察し易い容易に、6池では草刈りを、ザ2-①、池には移植をした。今年度も、タタラカンガレイ、ツツイトモ、アサガガブタ等の希少種の保全・再生方法を模索した。 また、貴重種であるオオアカバナの再生が確認され保護を行った。</li> <li>5. 市民への啓蒙活動 入園者の啓蒙のために作成した当緑地の生物紹介パネル、ぼっけ生きもの倶楽部倶楽部の活動事業報告書と写真集「緑の水面ーカイツブリの親子ー」をビクターセンター内に展示した。</li> </ol> <p>池内の草刈りによる水面の維持、植生のコントロール、外来種駆除等を行った結果、希少植物の再生も順調に進み、かつての大柏川地域に普通にみられた自然環境の復元に貢献できた。市民が自然と触れ合う素晴らしい機会を提供することができた。</p>
<p>補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策</p> <p>(今後の方向性)</p>	<p>補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 行政の市内自然環境の把握と保護、保全の継続性確保 行政では開発の進む市川市において現存する自然環境について把握し、保護、復元整備すべき重点地点を認識し、住環境改善の両立を図っていくことが望まれる。自然環境の維持管理手法は、少なくとも5年位に亘って試行錯誤の結果を当事者及び、できれば第三者による観察、評価を基に確立される。しかし、市川市役所は、ほぼ2年毎の人事異動や、組織変更などがある。配属された職員にそれらの業務処理能力に問題があっても、蓄積されて来た維持管理業務内容をきっちりと引継ぎができる仕組の確立が急務である。この問題解決策として、指定管理者制度の適用の試行が望まれる。</li> <li>2. 夏場の渇水対策の実施 大柏川第一調節池緑地の水は；雨水と周りからの絞り水から成り宣っている。そのため、夏場いくつかの柵池は干し上がり、そこに棲息している魚類は壊滅、入園者は、水辺を楽しむ機会を喪失している状況にある。対策として、夏場に水を補給する設備の検討が急がれる。</li> <li>3. 人員確保 広大なこの緑地の草刈りや外来生物駆除を行うには、人員不足である。広報やボランティアなどで参加者を募り人員を確保することや、今後SNS等により広い発信を行い人員の確保も望まれる。</li> <li>4. 広報活動 希少植物アサザ・ガガブタ、タタラカンガレイに加え、今年度はオオアカバナが確認された。 大柏川第一調節池緑地は、それらが観察できる市内唯一の場所として広く紹介すると同時に、他の団体との交流を深める場所としていきたい。</li> <li>5. 経済的支援 ボランティア活動を行うに当たり、刈り払い機、ガソリン等が必要である。市民との協働の基に、活動を推し進めるためには、少なくとも協定書を締結した団体に対しては、機材の貸与、消耗品の支給を始め、ソフト利用費用等への補助などが必要である。</li> <li>6. 市内に新たに整備された国分川調節池緑地は大柏川第一調節池と同様に大面積であり市川市内の自然環境として貴重な存在である、多様な動植物の生息環境として維持、向上を図るために、継続して復元・維持管理の技術を確立していくことが望まれる。</li> </ol>

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

タイトル：園内大看板修復

撮影年月日：2022年2月20日



タイトル：落ち葉堆肥、小動物生息環境整備

撮影年月日：2022年2月13日





## 市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称：大柏川第一調節池緑地の自然環境保全・再生活動

## 1【収 入】

項 目	金 額	説 明（積算等）
事業収入	0	
寄附金収入	8,800	
補助金収入	132,802	
その他 （助成金等）	0	
会費充当	127,509	団体の本会計より充当
合 計	269,111	

## 2【支 出】

項 目	支出金額	うち補助対象金額	説 明（積算等）
報償費	0	0	外部講師等の招へい あり/なし
交通費	0	0	
消耗品費	179,582	178,425	別紙 申請品内訳書参照
印刷製本費	14,675	12,859	
材料費	56,044	55,801	
通信運搬費	1,210	920	
保険料	0	0	
使用料 及び賃借料	17,600	17,600	AutoCAD LT 8800円/1ヶ月間×2回のサブスクリプション契約
予備費	0	0	
合 計	269,111	265,605	

※ 領収書（原本）を添付してください。

市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

令和4年3月11日

市川市長

団体名 市川子どもわくわくネットワーク

(団体番号 90 )

代表者名

所在地

令和3年4月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	260,423円
(2) 補助対象経費総額	212,000円
(3) 補助金交付決定額	150,000円
(4) 補助金交付概算払額	150,000円



## (5) 実施報告

補助決定事業の名称	子どもに関わる人たちのつながりづくり事業
補助決定事業の実施内容  (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)	<p>計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。</p> <p>1、毎月1回「いちかわ☆つながるカフェ」を開催。毎回ゲストを招いて話題提供をしてもらい、その後参加者どうしの交流を図った。 開催日：6/18、7/16、8/20、9/17、10/15、11/19、12/17、1/21 計8回 のべ参加人数：87人 ゲスト：中山勇魚さん (NPO法人チャンスフォーオール代表) 佐藤宏之さん (あそ美代表) 安積順子さん (長野県伊那小学校公開授業指導者) 相澤孝紀さん (NPO法人プレイフルエンタープライズわかば代表) 三浦雅代さん (やわたの森kids代表) 山内佑輔さん (新渡戸文化学園教諭/SOZO. Ed副代表) 前北 海さん (NPO法人フリースクールネモ代表) 谷水秀光さん (放課後等デイサービスハクナマタタ管理責任者) ※新型コロナウイルス対策として、オンラインで実施した。</p> <p>2、まとめの会として、規模を大きくし、子どもも参加できる会として「こどもみらい会議」を実施した。 テーマ：「学びと遊び ～こどもを巡るみらい～」 開催日：2/11 参加人数：大人26人、子ども3人 ゲスト：青木智宏さん (公益財団法人ベネッセこども基金) つながるカフェゲスト6人 ※新型コロナウイルス対策として、オンラインで実施した。</p>
広報の実施状況  (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)	<p>フェイスブックやメールリストなど、SNSを利用して広報を行った。 過去に参加した人たちが、さらに拡散してくれるなど、紙媒体を使わず広めていくことができた。</p> <p>新型コロナウイルス対策として、紙媒体での宣伝は行わなかった。</p>
補助決定事業の成果  (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)	<p>補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。</p> <p>多岐にわたる分野で活躍されているゲストをお招きしてお話を聞くことにより、参加者がより広い視野で子どもを取り巻く環境について関心を持つことができるようになった。 また、市外で活躍されているゲストの方からは、市内ではまだ行われていない取り組みについても学ぶことができた。</p> <p>こどもみらい会議では、子どもたちにも参加してもらい、子どもが育つ環境について共に考える機会を設けることができた。</p>
補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策  (今後の方向性)	<p>補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。</p> <p>オンライン開催のため、お互いに名刺交換をしあうなどの交流が生まれにくくなった。 オンラインでも交流が活発になるよう、参加者の発言機会を増やしたり、グループワークの時間を設けたり、チャット機能を活用したりと工夫をした。</p>

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

タイトル : いちかわ☆つながるカフェ

撮影年月日 : 2021年11月19日



タイトル : こどもみらい会議

撮影年月日 : 2022年2月11日



市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称： 子どもに関わる人たちのつながりづくり事業

1【収 入】

項 目	金 額	説 明(積算等)
事業収入	135,600	つながるカフェ参加費1,200円×87人 =104,400円 みらい会議参加費1,200円×26人 =31,200円
寄附金収入		
補助金収入	150,000	市川市市民活動団体事業補助金
その他 (助成金等)	0	
会費充当	18,823	団体の本会計より充当
返金	▲ 44,000	
合 計	260,423	

2【支 出】

項 目	支出金額	うち補助対象金額	説 明(積算等)
報償費	210,000	210,000	外部講師等の招へい <sup>(あり)</sup> なし つながるカフェ講師謝金20,000円×3人、10,000円×4人 = 100,000円 みらい会議講師謝金30,000円×2人、10,000円×4人 = 100,000円 チラシ作成謝金10,000円
交通費	0	0	スタッフ交通費
消耗品費	13,830	0	講師謝礼品
印刷製本費	0	0	つながるカフェ資料印刷 みらい会議チラシ
通信運搬費	4,310	2,000	謝金振込手数料220×11=2,420円 pentix振込手数料210×9=1,890円
保険料	0	0	
使用料 及び賃借料	32,283	0	zoom使用料15,335円 pentix販売手数料14,848円 ミーティングルーム使用料2,100円
原材料費	0	0	
合 計	260,423	212,000	

※ 領収書(原本)を添付してください。

様式第8号（第8条関係）

市川市市民活動団体事業補助金軽微変更届出書

令和4年3月11日

市川市長

団体名 市川子どもわくわくネットワーク  
(団体番号 90)

代表者名

所在地

令和3年4月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業の軽微な変更をしたいので届け出ます。

記

1 補助決定事業の名称

子どもに関わる人たちのつながりづくり事業

2 変更の内容

「映画上映会」の開催を中止した

3 変更の理由

新型コロナウイルスの影響を鑑み、開催を見合わせたため



市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

令和4年 3月 31日

市川市長

団体名 ASB

（団体番号 91）

代表者名

所在地

令和3年7月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	63,810円
(2) 補助対象経費総額	51,771円
(3) 補助金交付決定額	34,735円
(4) 補助金交付概算払額	34,735円



[ 事業報告書 ]

事業の名称	家族向け野外活動や伝承遊びの普及事業
事業の実施時間・実施場所・内容	<p>工作教室（1回目）：令和4年1月30日に1家族3名で市川南公民館をお借りして開催。女の子2名と母親のご家族が参加されました。</p> <p>工作教室（2回目）：令和4年3月27日に3家族6名で勤労福祉会館にて行いました。男の子と親御さん2家族と女の子と親御さんのご家族が参加されました 両イベントとも2名のスタッフで行いました。</p>
広報実施状況（市民の参加を呼びかけるために実施した広報などの実施状況を記載してください）	<p>市民まつりの参加はネット中継を当日行えるスタッフが居なかったため参加を断念したため以前に参加した下さった方々に連絡を取って何とか開催できました。しかし、夏の野外活動は市川市・船橋市のキャンプ場を探して開催できるかを検討しましたが、緊急事態宣言の最中でしたのであきらめざるを得ませんでした。</p>
事業の成果	<p>市民活動団体支援制度に参加したこと、また、事業を実施したことによってどんなメリットがあったか、あるいは地域がどう変わったかなど、得られた成果を具体的に書いてください</p> <p>過去の参加データを頼りに募集して工作教室を開催できましたが、来年の市民まつりもリモート開催になると難しいところ(実際におもちゃを使って遊ぶことがかなわないこと)も露呈する結果となってしまいました。</p>
課題（今後の方向）	<p>事業を実施したことによってどんな課題を把握したか、また課題を解決するための方向性について記入してください。</p> <p>コロナウイルスによる緊急事態宣言発令に伴い、準備していた野外活動が結果的にできなかったのが残念ですが、2回目の工作教室で野外教室のPR活動としてピザを焼いて食べていただくことを行いました。スポーツ課との連携をしながら野外教室に向けて連絡を密に取って活動することを計画しております。また、市民まつりの参加も視野に入れて活動することを念頭に置いて活動することを再確認しました。</p> <p>今後の課題は、コロナウイルスの終息することが前提になってしまいますが、夏季の野外教室と冬の工作教室はイベントの軸なので活動は継続していきます</p>



(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

タイトル : 親子で頑張ってます。

撮影年月日: 令和4年1月30日



タイトル : 初めての12キリ作業

撮影年月日: 令和4年3月27日



市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称：家族向け野外活動や伝承遊びの普及事業

1【収入】

項目	金額	説明(積算等)
事業収入	1,500	工作教室(1回目：1月30日)1家族500円・工作教室(2回目：3月30日)2家族
寄附金収入		
補助金収入	34,735	市川市市民活動団体事業補助金
その他(助成金等)		
会費充当	36,425	団体の本会計より充当
補助金返還	-8,850	
合計	63,810	

2【支出】

項目	支出金額	うち補助対象金額	説明(積算等)
報償費			
交通費			
消耗品費	55,609	43,570	固形燃料・着火剤・ポケットスプーン1375円、まな板シート・ウォータージャグ1978円、スキレット2個546円、椅子・キャリー6996円、食器1716円、ブルーシート・ドリル2個・ノコギリ5個4307円、ごみ入れ1480円、名札332円 他
印刷製本費	265	265	コピー代29枚・写真プリント120円
通信運搬費	4,136	4,136	ハガキ1,260円、切手2,184円、封書代440円
保険料			
使用料及び賃借料	3,800	3,800	市川駅南公民館3,340円、勤労福祉会館460円
その他			
合計	63,810	51,771	

※ 領収書(原本)を添付してください。

様式第8号（第8条関係）

市川市市民活動団体事業補助金軽微変更届出書

令和4年 3月 31日

市川市長

団体名 ASB

(団体番号 91)

代表者名

所在地

令和3年7月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業の軽微な変更をしたいので届け出ます。

記

1 補助決定事業の名称

家族向け野外活動や伝承遊びの普及事業

2 変更の内容

野外活動の中止(8月第2土曜・日曜日)

野外活動のイベント中止による工作教室の追加(令和4年3月27日に実施)

3 変更の理由

新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言期間中により、キャンプ場が使用できなかったため

